

■単元名

6年 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 『鳥獣戯画』を読む

■単元の特徴とデジタル教科書の活用について

筆者である高畑勲氏による勢いのある表現が特徴的な説明文。前半に集中する体言止めや全般に散りばめられた読者への呼びかけ表現など、様々な工夫によって親近感が持てる文章になっている。そうした読後感が得られる仕組みを「見える化」するために、教科書本文への線引きやマイ黒板での抜き出し作業を行う。

■単元計画（全7時間）

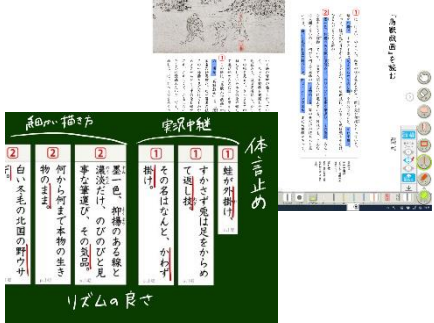
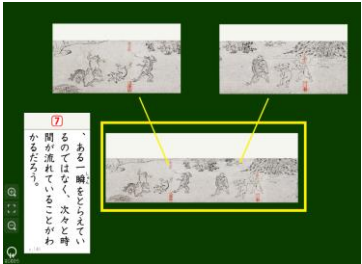
第1次 内容を整理し、表現の工夫に気づき、その効果を考える。（本時 4/7 時）

第2次 要約を行う。

第3次 他の絵巻物を分析し、共通点や相違点を捉える。

■第4時の指導案

【本時のめあて】筆者の表現の特徴をとらえ、論理構造を把握することができる。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価基準（評価方法）	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
<p>①表現の工夫を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体言止めの使われ方を調べる。 ・呼びかけ表現の使われ方を調べる。 	<p>◇体言止めや呼びかけ表現の箇所に線を引き、その傾向を捉えさせる。</p> <p>◆体言止めが冒頭に集中している意味について、自分の言葉で説明することができる。</p> <p>（例）前半に体言止めを多く使うことで、たたみかけるようなリズムを生み、読者を絵巻物の世界へ引き込むことができる。</p>	<p>・本文中の体言止めの箇所に線を引くことで、冒頭に集中して用いられていることがわかる。(①)</p> 
<p>②絵の示し方の工夫を確かめる。</p>	<p>◇1つの場面を分割して説明した後、再度つなげて説明し直した意図を考えさせる。</p> <p>◆挿絵の見せ方による効果をも自分の言葉で説明することができる。</p>	<p>・絵巻物が持つ連続性を「マイ黒板」で視覚化する。(②)</p> 
<p>③論理の工夫を確かめる。</p>	<p>◇「筆者による詳細な分析→歴史的価値の説明→筆者による主張（抽象度をあげた説明）」という展開を本文で確認する。</p> <p>◆論理構造を俯瞰して把握することができる。</p>	<p>・「スクロール」機能で、本文の連続性を視覚化し、俯瞰的に内容を把握できるようにする。(③)</p> 